

旧春日部市商工振興センター跡地活用



かわら版 第2号

発行日：平成30年9月
事務局：春日部市役所政策課
048-736-1111（内線2115）

商店会・自治会・商工会議所ごとに

第1回分科会を開催しました

8月10日に開催した懇談会での意見を受け、商店会、自治会、商工会議所ごとに、個別の分科会を開催しました。

市からは、8月10日の懇談会でいただいたご意見に対する市の対応や、今後の懇談会、分科会のスケジュールなどを説明しました。

どの分科会でも活発な意見交換が行われ、さまざまなお意見をいただきました。今後は、それぞれの分科会での主な意見を整理し、9月下旬に第2回分科会を開催していきます。



商店会分科会の様子



商工会議所分科会の様子



自治会分科会の様子

商店会分科会の様子と主な意見など

【日時】平成30年9月7日(金)午後6時～午後7時30分

【場所】春日部市教育センター

【出席いただいた方々】

春日部駅東口商店会連合会 会長、副会長

春日部駅東口都市近代化推進協議会 副会長、他1名

春日部駅東口駅前商店会 会長

本町商店会 会長

(順不同、敬称略)

【主な質問と回答】

①国の施設移転までの経緯をしっかりと説明してほしい。

②どのような経緯で売却に至ったのか。

⇒旧商工振興センター施設の耐震性能が低いことが分かり、改修を検討した結果、耐震補強には相当の費用がかかること、補強により利用スペースが減少することから、解体することとなりました。

国からの移転の相談は、その後の平成27年12月が最初となります。国の施設は人の流れを生み、活性化につながるなどから、売却することとしました。ただし、駅に近い公共用地は取得困難のため、半分程度残すなどの検討がありました。

③市として、どのような施設にする意向か。

⇒必要以上に大きい施設は建設できないため、皆様の意見により調整を図る必要があると考えています。

【跡地活用に対する主な意見】

①イベント利用などの空間。

②市役所の市民課分室。

③匠のまちとして桐たんすや桐箱などの工房や販売所。

④商工会議所と関連事業所や法人の配置。

⑤ホテルなどの宿泊施設は、集客が難しいのではないか。

⑥古利根公園橋付近に物産センターをおき、既存施設の移転先として跡地活用施設とする手法もある。

⑦専門家の意見、全国の好事例を取り入れ、東口らしい、市を象徴する場所にしてほしい。

【まちなみ公園再整備に対する質問・回答と主な意見】

①現状用地での再整備か。用地取得により公園規模拡大もあるのか。

⇒再整備は現状用地を想定しています。

②再整備についての制約はあるのか。

⇒都市公園のため公園機能は残す必要があります。建築物を建築する際は公園面積からの規定割合があります。次回、公園整備の前提条件をお出しします。

③敷地が狭いため、樹木は減らしたほうがよい。

自治会分科会の様子と主な意見など

【日時】平成30年9月11日（火）午後7時～午後8時30分

【場所】春日部市教育センター

【出席いただいた方々】

本町地区会 会長、他2名

富士見町会 会長代理

（順不同、敬称略）

【主な質問と回答】

- ①市は何階建てで何台の駐車場を確保した施設を考えているのか。
⇒施設規模はどのような機能を取り入れるかによりますので、意見を集約し、バランスを考慮して施設イメージを示していきます。
- ②国の施設と駐車場は共用になるのか。
⇒相互利用を可能とする方向で調整を行っています。
- ③施設建設が始まるまでは砂利敷きか。
⇒現在の解体工事の引渡し計画では防草シートで覆うのみです。施設建設が始まるまでの期間は2～3年程度となります。

【跡地活用に対する主な意見】

- ①スーパー、新鮮食材の販売、レシピ紹介コーナー、贈答品の販売、テイクアウト販売など。
- ②オープンテラスのレストランや軽食が取れる店など。
- ③子どもの興味をひくクレヨンしんちゃんの活用。
- ④子育て関連施設、打合せや学習用のフリースペース、展示スペース。
- ⑤若い世代を呼ぶため、カラオケやゲームセンターといった娯楽施設。
- ⑥全国の名産品販売など。
- ⑦明るく賑わいがあり、子育て世代、高齢世代がともに利用・交流でき半日程度ゆっくり過ごせるスペースがあり、買い物して帰ることができる施設。
- ⑧鉄道高架により西口が徒歩圏内になることも考慮すべきである。
- ⑨防災面での検討も必要。
- ⑩子育て関連施設は相応の駐車場が必要なため、難しいのではないかと。

【まちなみ公園再整備に対する質問・回答と主な意見】

- ①まちなみ公園を駐車場として活用できないか。
⇒まちなみ公園は公園機能を維持する方向性のため、駐車場整備は難しいと考えています。
- ②調査の内容と時期は。地下駐輪場は活用できないのか。
⇒調査内容は地下駐輪場の解体に向けた躯体調査であり、年明けに実施予定です。

商工会議所分科会の様子と主な意見など

【日時】平成30年9月10日（月）午前10時～午前11時

【場所】春日部商工会議所

【出席いただいた方々】

春日部商工会議所 会頭、副会頭（3名）、専務理事、事務局長、
他4名

（順不同、敬称略）

【主な質問と回答】

- ①行政利用、民間利用とあるが、旧商工振興センターのように団体が利用する形態は民間利用となるか。
⇒事務所としての使用であれば民間利用だが、管理を委託する形ならば行政利用と考えます。
- ②民間施設建設ならば借地など考えられるが、それもあわせて検討するのか。
⇒その通りですが、スケジュール上は売却を想定していなく、市の施設を建築する前提としています。
- ③国の施設だけでなく、春日部市を回遊してもらえるようにしたい。施設を商工会議所に維持管理させてもらえれば、東口活性化の一助になれると考えている。

【跡地活用に対する主な意見】

- ①道の駅のような食事、買い物ができる施設。フードセレクションの販売。
- ②会議や趣味の活動ができるスペース。
- ③100人以上の人が集まれるスペース。
- ④市の出張所。
- ⑤旧商工振興センターの類似施設の再建。

【まちなみ公園再整備に対する質問・回答と主な意見】

- ①地下駐輪場は取り壊し新たに整備する想定か。
⇒取り壊しを前提としているが、まずは調査を行い決定していきます。
- ②駐車場とすることはできないのか。
⇒公園機能を残す考えだが、イベント開催時など一時的に駐車場として利用する可能性はあると考えます。
- ③駐車場と公園という立体利用の考えはあるか。
⇒現時点でそこまでの想定はしていません。